

株式会社日本触媒

2009年3月期 第2四半期決算説明会



2008年11月7日



日本触媒

中長期経営計画

「テクノアメニティV3」

(2006~2010年度)

の進捗について

代表取締役社長
近藤忠夫

目次

1. 中長期経営計画
2. セグメント別進捗
 - (1) 機能性化学品
 - (2) 基礎化学品
 - (3) 環境・触媒
3. 新規製品
4. 設備投資
5. 今後の展開と見通し
6. 利益還元策
7. 社会貢献活動

用語解説

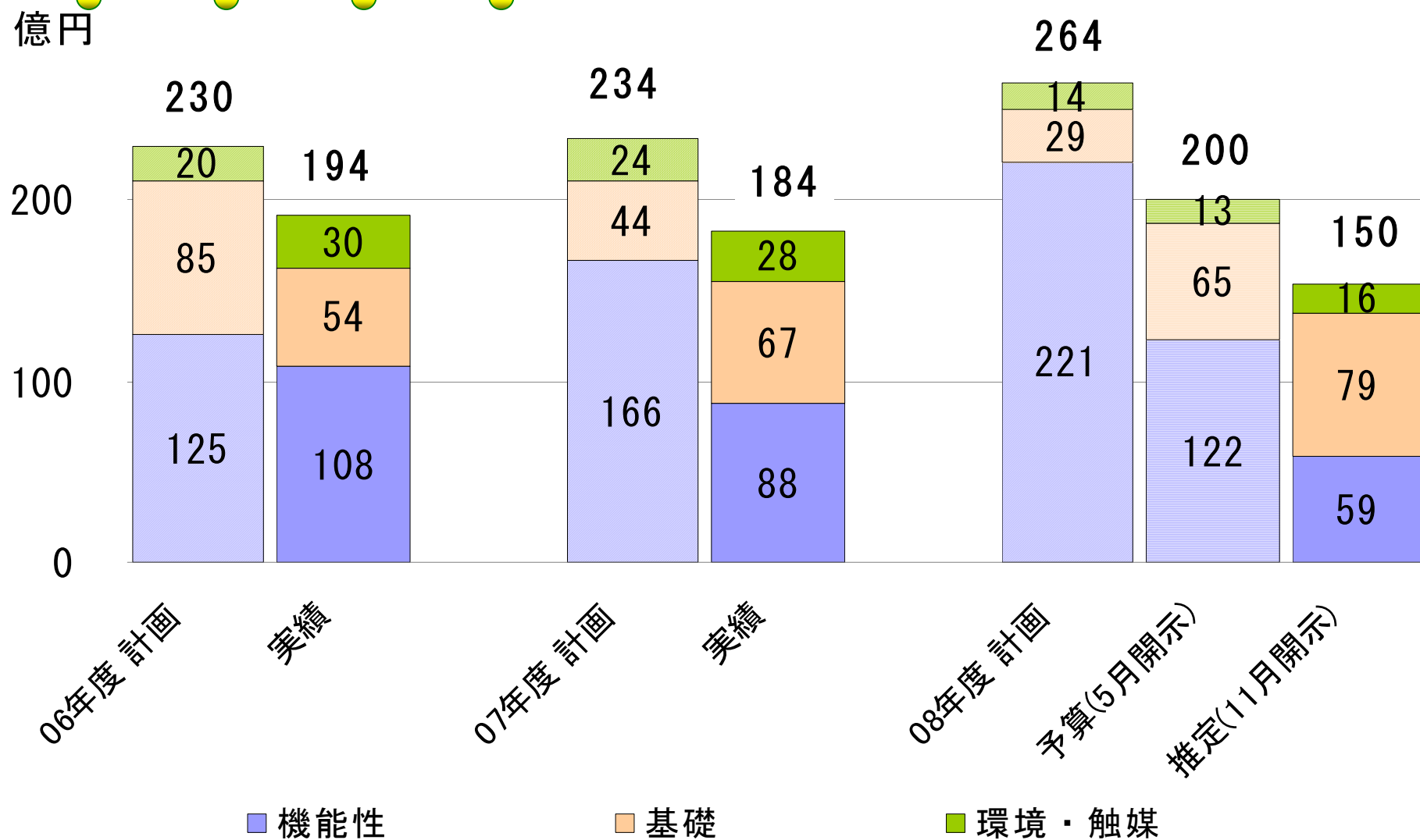
SAP:	高吸水性樹脂
AA:	アクリル酸
AES:	アクリル酸エステル類
EO:	酸化エチレン
EG:	エチレングリコール
アクリビュア [®] :	光学材料用アクリル樹脂
アクアロック [®] :	コンクリート混和剤用ポリマー
CF:	カラーフィルター
PC:	ポリカーボネート

連結業績推移



** 2007、2008年度計画の経常利益は、制度改正による減価償却費増加（16億円/年）を加味した値

営業利益推移（セグメント別）



** 2007、2008年度計画は、制度改正による減価償却費増加（16億円/年）を加味した値

営業利益差異要因

機能性化学品の悪化

スプレッド縮小：

SAP、精密化学品

計画遅延：

新規電子情報材料

改善策

原料変動に対応した
売価設定

重要開発テーマへの
更なる資源の集中

「世界トップクラスのシェア維持」

世界最大41万トン体制確立

■原料高騰

コスト対応の価格修正未達



収益性
低下

収益体質改善へ

- 新価格体系への移行
- 新プロセスの開発・導入
- 海外拠点の収益性改善

アクアロック[®](コンクリート混和剤用ポリマー)

「世界No.1の地位を確立する」

全世界で10万吨体制へ

さらに拡大へ

世界需要

年率10%以上成長

2010年 40万吨

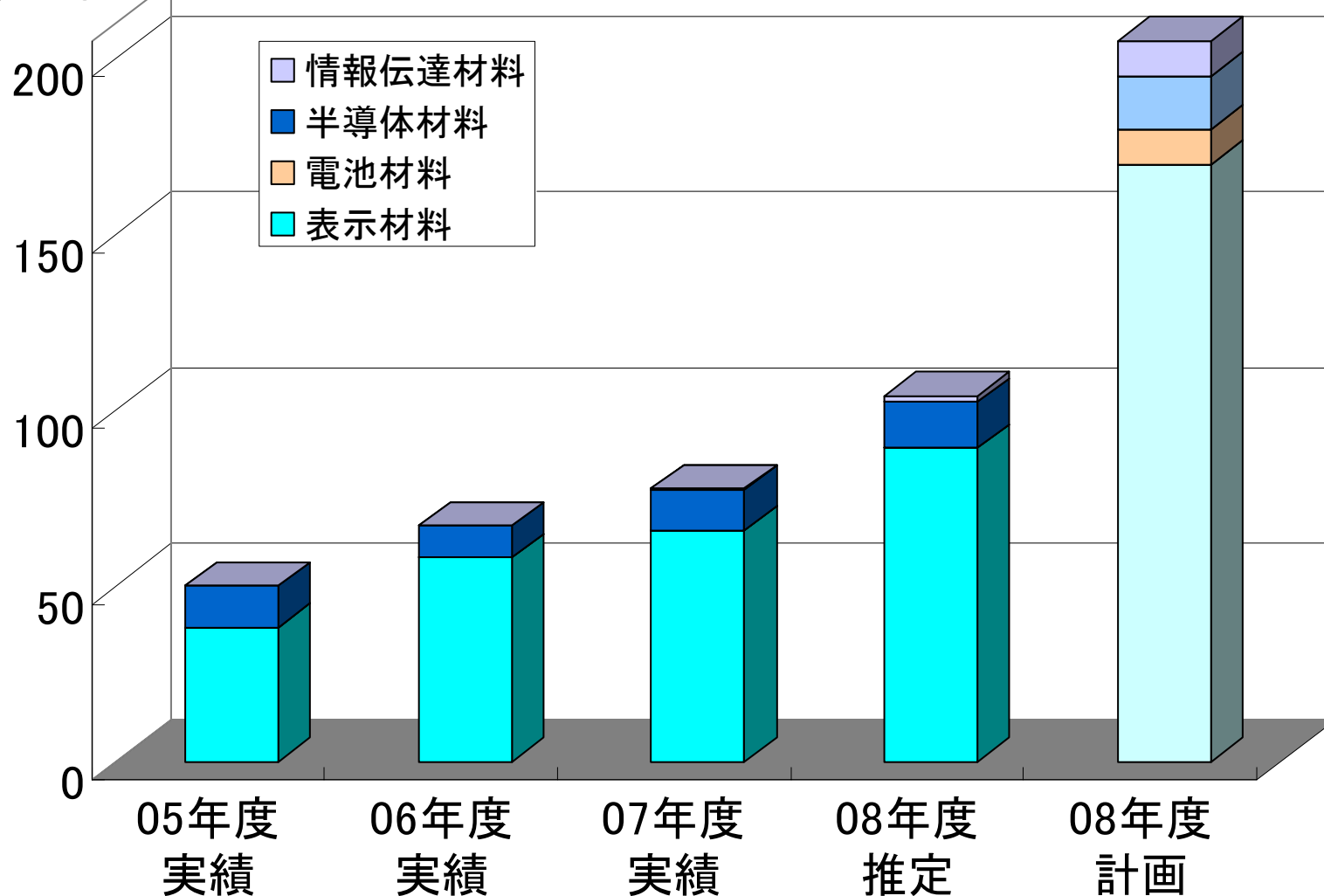
2015年 65万吨

世界シェア

25%超目標

電子情報材料

売上高／億円



アクリビュア[®]（光学材料用アクリル樹脂）

「テレビ向け出荷拡大へ」

経営資源を集中投資：人員・設備（電材研究棟建設中）

2品種を上市、テレビ向けに採用済み

今後の課題

■品揃えの完成

プラント（年産6,000トン）の稼働率アップ

■フィルム化技術確立



その他電子情報材料

レジスト用ポリマー

微粒子

機能性色素

CF用、基板用伸張

光学フィルム向け伸張

PDP向けシェア拡大

光学材料用耐熱性樹脂

携帯電話用レンズ向け
拡販中

LCD用PC光拡散板

今下期伸張、拡販

EO

「非EG化による収益安定化」

非EG化推進： 80%＝目標達成
需要： 堅調に推移

2009年夏 7万トン増設

EO海底配管設置完了：川崎2工場効率運営可能

EO川下展開の強化： 日本乳化剤、中日合成(台湾)
経営効率化を検討／シナジー委員会設置

EOセンター化へ

AA/AES

「需要の伸びを捉えた成長」

計画を着実に実行

生産設備

世界一のコスト競争力を持つ設備建設

- 新鋭16万トン設備増設（2006年12月）
- 愛媛工場（8万トン）閉鎖（2007年12月）
- 最新鋭8万トン設備増設（2009年末）

収益動向

原料価格を反映した価格修正の実現

環境・触媒事業

「技術力をベースに製品差別化」

自動車触媒

自動車市場の変化へ柔軟な対応が必要

- 合弁パートナーとの協業体制を拡大

プロセス触媒

- 高性能新触媒の順次投入

新エネルギー

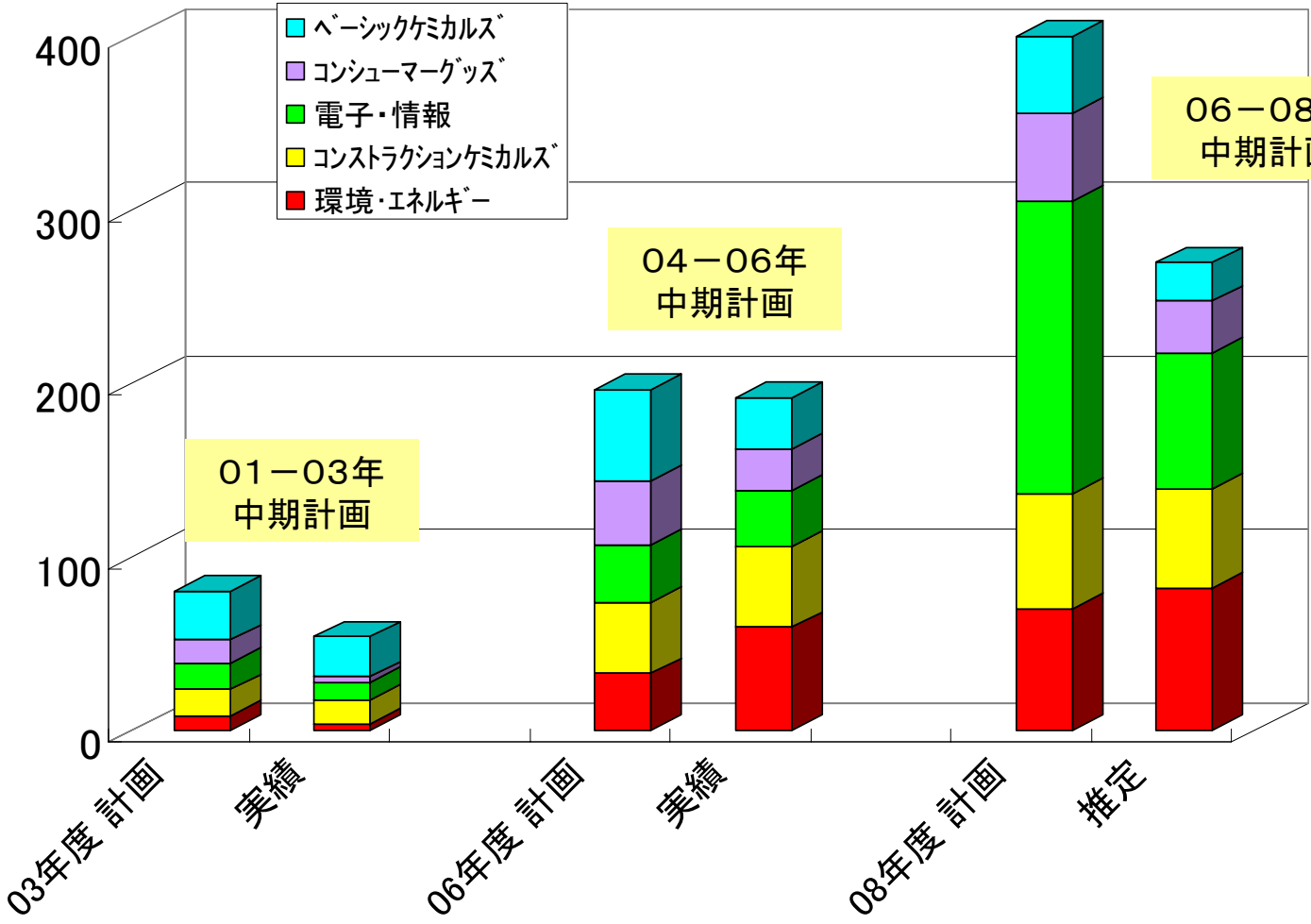
- 燃料電池材料等の開発を加速

3. 新規製品

新規製品*) 売上高 中期計画対実績



売上高／億円



*) 5年以内に上市した新規製品

設備投資・実績と予定

製品 \ 年度	2006	2007	2008	2009	2010	コメント
EO				+7万トン →		計32万トン
AA	+16万トン	-8万トン		+8万トン →		計62万トン
SAP		+6万トン		+9万トン		計50万トン
アクアロック®		+2万トン		+2万トン		計10万トン
アクリビュア®	3千トン 新設	+3千トン		設備増強		
投資合計/億円	243	174	234			

長期経営計画：5年間累計で1,100億円を予定

- 2006-08年度：ほぼ計画通りの実施
- 2009-10年度：需給バランスと収益性を見極めて進める

2008年度下期予算達成へ向けて

(億円)

	2007年度			2008年度		
	上期	下期	通期	上期	下期 推定	通期 推定
売上高	1,485	1,542	3,027	1,721	1,779	3,500
営業利益	107	77	184	58	92	150
経常利益	121	86	207	72	98	170

2008年度下期 前提条件

国産ナフサ価格： 65,000円/kL、為替レート：US\$=105円、Eur=145円

不透明要素

為替レート変動

需要減退

原料価格変動

課題

スプレッド維持・改善

価格維持・修正

コストダウン

新規製品の確実な上市

計画販売数量の確保

利益還元策

企業価値・株主価値の向上

目標：総還元率^{*}) 50%前後

業績を反映しつつ安定的配当

自社株購入額で調整

総還元率推移

03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度(推定)
20%	22%	36%	55%	54%	86%

配当：07年度：16円

08年度：17円

(自社株消却に伴う増配)

- ・保有：7,979千株(08年9月末)
- ・消却：7,881千株(08年5月実施)

^{*}) 総還元率 = (配当額 + 自社株購入額) / 当期純利益額

社会貢献活動

地球温暖化防止のための緑化事業

■ 砂漠化防止技術研究プロジェクト

当社SAPの応用

中国・新疆ウイグル自治区

08年3月開始



■ 「日本触媒の森」づくり

「地球温暖化防止と日中友好の森」

中国・内モンゴル自治区

08年10月開所



「日本触媒・水源の森」

兵庫県宍粟市

08年11月開所



SAP：高吸水性樹脂

おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問い合わせ先：

株式会社日本触媒 I R担当チーム

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7477

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>